

No.

平成13年度

特別案件調査団報告書
集団「火力発電」コース

平成14年4月

国際協力事業団 中国国際センター

中国セ

JR

02-2

<目次>

序文	1
写真	2
各国の調査場所	4
I. 調査団の目的と概要	5
1.研修コースの経緯と調査団派遣の背景	
2.調査団の目的	
3.調査団の構成	
4.調査日程	
5.面談者一覧	
II. 調査結果概要	8
1.事前準備	
2.トルコ国での調査	
3.シリア国での調査	
III. 調査結果	9
1.トルコ	
(1) トルコのエネルギー政策	
(2) 火力発電所の現状調査	
(3) 帰国研修員の状況調査	
2.シリア	
(1) シリアのエネルギー政策	
(2) 火力発電所の現状調査	
(3) 帰国研修員の状況調査	
IV. 調査結果を踏まえた研修コースへの提言	23
1.研修の方向性	
2.技術レベルの発展段階と研修アプローチの方法	
3.研修対象者の設定	
4.研修成果と最終レポート	
V. 調査団所感	26
1.本調査団の意義	
2.途上国の状況	
3.途上国の援助ニーズ	
4.研修の分野別/地域別/研修員職種別アプローチへの課題	
VI. 別添資料	27
1.事前質問票（訪問先、帰国研修員）	
2.質問票回答（帰国研修員）	

序文

この報告書は火力発電コースの特別案件調査団の調査結果を取り纏めたものです。同コースは平成9年度から平成13年度まで計5回実施され、計21ヶ国46名の研修員を受け入れてきました。5回の研修を終了したことからその成果及び平成14年度以降の研修コース内容をよりニーズに即したものにすることを目的に特別案件調査団の派遣が計画されました。

本調査団は平成14年3月9日から3月22日までの14日間、トルコ、シリアにおいて、中央政府の電力分野担当省庁・機関及び火力発電所を訪問し、現地の発電セクターの現状や直面している問題点に関する調査を実施しました。

本報告書が、今回の研修コースの計画策定のみならず、他センター・支部における当該分野の研修コースの計画立案の参考に資すれば幸甚です。

なお、本調査団派遣にあたりご協力を賜った中国電力株式会社の方々をはじめ、ご支援をいただいた関係者の皆様に対し、心から感謝の意を表します。

平成14年4月

国際協力事業団
中国国際センター
所長 駒沢 彰夫